

特定非営利活動法人 腰越フットボールクラブ 設立趣旨書

腰越フットボールクラブ（以下KFCと略す）は、保護者自らがコーチになって、小学生の子どもたちにサッカーの楽しさを教え、そのことを通して子どもたちの健全育成を図る目的で1975年に設立された。子どもたちは選手として、保護者はコーチとして、コーチでない保護者は役員や子どもの引率などの活動を通して、KFC活動を担ってきた。

子どもたちの保護者が中心になって運営するというKFCの仕組みは、地域の皆様方から高い評価をいただき、以来30年間に亘って維持されてきた。その間に、幼児を対象としたキッズチーム、女性のためのレディースチームも編成され、多くの層がサッカーを楽しむようになってきた。また、KFCを巣立った子どもたちが、ユース、ミドル、トップチームを組織し、KFCの重要なカテゴリーとして活動している。

このような活動を続けるためには、スポーツ環境の整備が不可欠である。一番重要なグラウンドの確保のために、小学校、中学校、公園管理者や企業の方々との信頼関係の形成に努めるとともに、定めた利用ルールを遵守するよう子どもたちを指導してきた。また、グラウンドの状態を維持するために、砂利の撤去や草むしり、トンボ掛け、散水作業などを積極的に行ってきた。また、審判資格者の養成、トレーナー技術の習得、コーチング技術の向上のための研修会の開催、腰越カップなどの各種大会の開催などを行い、地域スポーツ文化の発展・向上に寄与してきた。

このような30年に亘るKFC活動の実績と評価を踏まえたとき、われわれの活動の輪を広め、より積極的に展開することの意義は高いものと考えに至った。この高い意義を実行するためには、社会的に信用力の付与が必要であり、これが特定非営利活動法人 腰越フットボールクラブ（通称KFC）を設立する趣旨である。

つまり、この法人は「腰越を中心として鎌倉市及びその周辺地域の住民に対して、サッカー等の普及と振興を図り、サッカーを始めとするスポーツ環境の整備を行い、これらを通じて、青少年の健全育成と地域スポーツ文化の発展・向上、地域コミュニティの形成に寄与する。」ものである。

平成17年7月30日

特定非営利活動法人 腰越フットボールクラブ
設立代表者 山崎 一真